

GFEST マレーシア研修の感想

佐藤圭一郎

昨年のタスマニア研修に続き、筑波大学グローバルサイエンスキャンパス GFEST のマレーシア研修に参加してきました。今回は5日間の日程で、マレーシア日本工科大学(MJIIT)での分野別講座のグループ研修(2日目・3日目)、植物園などのツアー(4日目)を行いました。

MJIIT では環境風工学(WEE)という講座に参加しました。WEE はビル風の有効活用や列車の横転事故の原因となる横風対策などを、シミュレーションや実測などで実験を行っている講座です。担当教授が行っている研究は、冷房の効率を高めるというものでした。よって、僕の研究している分野(風車製作)とは合わなかったのですが、風車についての研究をしているWEEの院生とのディスカッションを行いました。ディスカッションを行い、研究の新たな視点からアドバイスを得ることができました。

研修中にはWEEのキャンパス巡りも行いました。シミュレーションに使用しているパソコンや、実験で使用している風速計、巨大な風洞装置やフライトシミュレーターなどを見学し、風洞とフライトシミュレーターについては実際に作動させて体験させてもらえることができました。



3日目の午後には MJIIT で行われた研修のまとめのプレゼンテーションを行うことになっていたのですが、2日目の夜には、5、6人でホテルの一室に(眠らないために)籠り、スライドや原稿の製作を、日付を跨いで行いました。WEE では出ませんが、他の講座では課題(ロボットのプログラミングをしてくる、物理の公式の証明をするなど)が出たようです。

3日目の午前中は WEE の院生の研究の手伝いをしました。下の写真は、日陰と日向での気温、湿度、風速、日照を計測し、その近くに人を座らせ、快適かどうかのアンケートを採る、というものです。午後には WEE で学んだことについて 15 分ほどのプレゼンテーシ



ョンを行いました。プレゼンテーションの後にはフェアウェルパーティーが開かれ、各講座の教授や院生と一緒に別れを惜しみました。

4日目はツアーということでしたが、詳細は当日まで伝えられませんでした。ツアーの内容は、植物園で熱帯地域の動植物についての見学、鷹への餌やりという流れでした。植物園での見学は、熱帯地域の珍しい植物や鳥を見ることが出来ました。汽水域に位置する植物園だったので、葉に塩が生じる植物などがありました。

ただ、とても暑かったので疲労困憊になった GFEST 生もいました。昼食を食べてから参加した鷹への餌やりですが、モーターボートで川を下って河口まで行き、水面に餌を撒いてそこに来る鷹を見るというものでした。個人的には鷹を見ることよりも川下りの方が迫り楽しかったです。その後、ショッピングをし、夕食を食べ、空港に向かい、深夜に日本に向かいました。

この研修で、様々な分野の研究を行っている中高生との交流、海外の同じような研究を行っている大学院生との交流ができました。ここで得た新たな考えを参考に研究を進めたいと思います。このような貴重な機会を与えてくださった筑波大学 GFEST 事務局には感謝したいと思います。

簡潔に日程を下にまとめました。

1日目：飛行機でクアラルンプールに向かう。夕食を食べてからホテルに到着。(因みに夕食はシンガポールでの修学旅行1日目のものと同じ鍋料理でした)



2日目：終日 MJIT でグループごとの研修。

3日目：午前中はグループごとに研修。午後は集合してプレゼン、フェアウェルパーティー。

4日目：植物園、鷹への餌やり、ショッピングをして、深夜に日本に出発。

5日目：日本に到着、解散。